

卓話

「ゴキブリの生き残り戦略」

前川純孝様

「持続可能」か、すなわち人類は生き残れるのか、21世紀は環境問題に大きく揺れる世紀となります。存亡の危機に立つ人類に対して、次はゴキブリの時代だとの声も聞かれます。なにしろ、ゴキブリはこの世に3億年以上ものあいだ生きてきた動物で、トンボとともに「生きた化石」とも呼ばれているほどです。人類が地球上に誕生したのがせいぜい4～500万年前のことですから、われわれ人間のざっと100倍以上の歴史をもっているわけです。



ゴキブリは人間の食べるものなら何でも食べるし、長期間の絶食にもかなり耐えることができます。餌や水を全く与えなくても20日間ぐらいは平気で生きています。

私がゴキブリと付き合うようになったのは、本当にひよんなことからでした。あるとき、ゴキブリの防除や駆除法について研究している方から、「せっかくゴキブリを殺す毒餌を開発しても、その餌を食べて死んでいくのは最初のうちだけで、その後はあまり効き目がみられません。ゴキブリは何らかの仕方で毒餌を食べないことを学習しているのではないのでしょうか」という質問を受けたのが発端でした。

はじめ、この話を聞いたとき、徐々に毒餌を食べなくなるという現象を、「学習」で説明するのは難しいと思いました。たとえば、この餌はどうも不味いとか、これを食べると手足がしびれるとか、体の調子が悪くなるというのであれば、しだいにその餌を食べなくなり、それを忌避するという学習行動が成立するかも知れません。しかし、食べたら直ちに死んでしまうような速効性の毒餌だと、学習している暇はないだろうと考えたからです。

ところが、実験を進めるうちに、意外なことが分かってきました。

本日は、これらゴキブリたちの生態・生き残り戦略を考えます。



鹿児島商業高校インターアクトクラブの原君が絵を描き、内田君が文字を書いてくれたクラブテーマのパネルが出来上がりました。毎回の例会で飾りたいと思います。

今後の予定

- 12月3日(水)年次総会
- 10日(水)会員卓話 大隈信彦会員
- 17日(水)クリスマス家族会
- 24日(水)クラブ定款休会②
- 31日(水)年末休会
- 1月9日(金)新春合同例会

●出席委員会報告 **出席率向上にご協力を!**

出席報告	第2733例会	10.22 訂正
会員数	38 (33) 人	38 (33) 人
出席数	20 (18) 人	22 (20) 人
出席率	57.14%	62.86%

●今後の予定

11/15 (土)	児童虐待についての公開講演会
11/26 (水)	会員卓話 上川咲男会員
12/3 (水)	年次総会

市内ロータリークラブのプログラム

★印は例会場ないし例会時間変更

RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	11/13 (木)	★10日変更 中央RC合同例会	山形屋	東南	11/18(火)	模擬面接準備	サンロイヤル
北		★15日変更 みなみホール	レプラント鹿児島	城西		小園ガバナー補佐訪問	東急イン
サザン		クラブフォーラム	東急イン	西	11/19(水)	外部卓話 県観光課倉野様	山形屋
鹿児島	11/14(金)	定例夜間例会	山形屋	西南		クラブ協議会	ゆうづき
中央	11/17(月)	国際奉仕フォーラム	山形屋				